

グループ指導の強化

岡山県畜産会本年度事業計画

本年度の事業目標は、昨年度から引続いて行なう畜産技術経営診断事業に併せて、新しい集団指導と自主的な畜産グループの育成に重点を置いている。

まず畜産技術経営診断事業については102名の指導員を委嘱して酪農、和牛、養鶏、養豚の各部門にわけ、地区グループ198、農家の6,188戸を指定し、個々の農家の診断とグループの育成強化をする。

また、畜産の自主的グループについては、育成の強化を図ることはもちろんのことであるが、畜産団地の造成に努め、これを基盤とし生成する流通関係の合理化、共販体制の整備を行ない経営効果をより以上に高めるために講習会、講話会を催し、グループ意識の結合と技術の向上をはかることとしている。

乳牛の特別事故防止についても、これを未然に防止するために乳牛事故防止協議会と連携をとり、事故率の高い30市町村を指定し集団指導あるいは個別指導を行ない酪農経営の安定のため万全を期することとしている。

また、これらの事業を完遂するため、関係普及所職員、指導員および濃密指導農家を対照に協議、連絡、技術指導等を行なうことも計画している。

概要以上のような計画で本年度事業を推進するが、年度末においては、この1年間の畜産技術経営指導の成果と優良事例の実績発表を行ない、その効果を普及させるとともに、最優秀者またはグループは中国地区大会において研究成果の発表が行なわれることとなっている。

このほか、昭和39年2月には昨年度同様冬季大学の開講も予定されている。

参考までにこの会の本年度予算書の概略を記載すると次のとおりである。

昭和38年度予算書(概要) 単位：千円

収入の部		支出の部	
補助金	4,964	管理費	1,981
賦課金	3,260	畜産振興技術費	5,044
助成金	60	指導体制整備強化費	2,054
雑収入	500	畜産振興対策費	244
寄附金	340	広報活動費	795
広報収入	795	過年度支出	30
繰越金	20	予備費	51
過年度収入	260		
合計	10,199	合計	10,199